

スマイリング Smiling

思いをカタチに ともに創る 笑顔の学校



「魅力ある学校づくり」に取り組んで4年間の成果 「学校に行くのが楽しい」三川の子ども

三川町の小・中学校が連携し「魅力ある学校づくり」事業に取り組み始めて4年が過ぎようとしています。

小学校と中学校が同じテーマを共有し、取り組んできた4年間の成果が、子どもの学びや校内生活の姿に表れてきています。学校運営協議会に長年参加してきた委員の方々からは、各学校の先生たちが、児童や

生徒に寄り添った取り組みを進めてくれていること、教職員による授業改善に深く感謝したいという声が多く聞こえています。

「学校に行くのが楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「学校の授業がよくわかる」とアンケートで答えている児童や生徒がきわめて多くなっていることが、何より大きな成果です。

「わかる授業」をめざした「授業改善」が行われてきています

学習指導と生徒指導の一本化を意識し、質の高い授業づくりに取り組んできたのが三川の小・中学校です。教員集団が研鑽を積みながら授業改善に取り組んでいます。知識を育み基礎基本を押さえる時間と、学ぶ子どもが主体となり、それを教員が支援しながら学びを深める時間のバランスがとれた授業により、子どもたちが生き活きと授業に参加しています。

- 外部講師を招き、意欲が高まる魅力ある単元・授業づくりに挑戦しています。
- ペア学習・グループ学習を取り入れ、主体的で協働的な学び合いのある授業づくりに挑戦しています。
- 友だちの考えや意見をしっかり聞くこと、自分の考えを相手にわかりやすく伝えることを大切にしています。
- 探究の視点を取り入れながら、協働的な学びで新たな気づきや理解を深める授業が見られます。

主体性・協調性を大事にした「絆づくり」が行われています

集団生活の学校で、「自分が必要とされている」「自分が認められている」と思えることは大切なことです。学校での人間関係を構築することは、社会人となっても「生きる活力」につながります。児童・生徒一人ひとりの心の動きに寄り添いながら、相手の気持ちを考えた言動について考えさせて育てています。

- 「縦割り活動」や児童会・生徒会活動を通して、主体性・協調性を大事にした絆づくりに活発に挑戦しています。
- 相手の気持ちを考え、名前の呼び捨てや乱暴な言葉づかいに注意するよう指導しています。
- 「寛容・共生・貢献」を意識した学校行事等を通し、協力・連携することの大切さ、他を思いやる心を育てています。
- 一人ひとりが楽しく学校生活を送れるように、温かい学校・学級づくりに取り組んでいます。
- 家庭との連絡・相談を通じて、子どもの姿を共有し、家庭と学校が一緒になって育てています。

子どもたちに「自尊感情・自己有用感」が育ってきています



学校評価アンケートから見られた共通課題

- 家庭や校外でも言葉づかいに注意すること。
- 「メディアタイム」を守り、しっかりした生活リズムを築くこと。
- 「読書をするのは好き」な子どもは多くいます。家庭での読書時間を増やすこと。

学校運営協議会の議事録は、三川町 HP からご覧いただけます。
三川町役場 HP → 「暮らし」 → 「コミュニティ・スクール」